

高精度のきずの
サイジング

Time of Flight
Diffraction

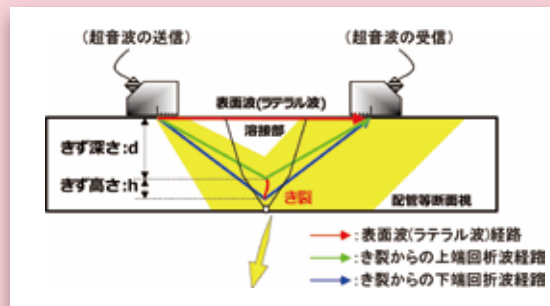
TOFD法 超音波探傷検査

TOFD法は送受信探触子を試験対象部を挟んで探傷することで、きず上下端部回折波の伝搬時間差を求めリアルタイムに断面画像表示を行い極めて高い精度できず高さが求められる。

- ◆ きず深さ・高さの測定精度が高い。
- ◆ きずの性状(単独・連続)の把握が容易。
- ◆ きず位置によりきずの形態の推測が可能。
- ◆ 探傷画像を電子データで保存可能。
- ◆ 従来の一探触子反射法に比べ高精度でスピーディーに探傷。

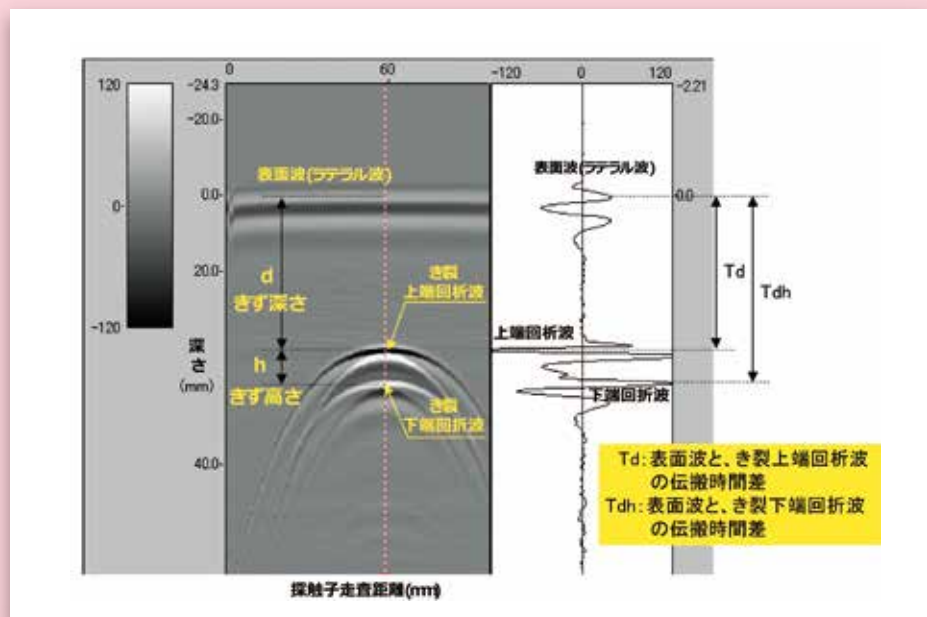
TOFD法の探傷原理

探傷方法概念図



TOFD超音波探傷装置

パソコン探傷画像表示例

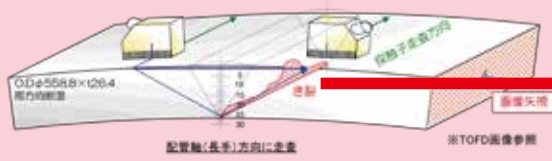
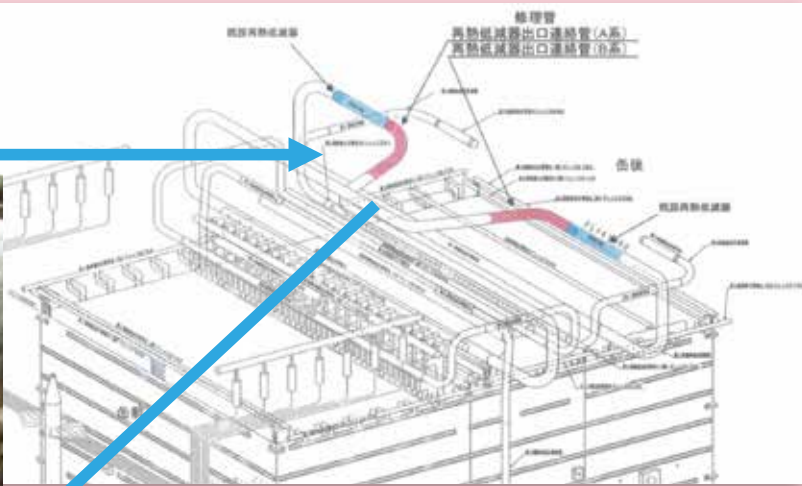


探傷状況



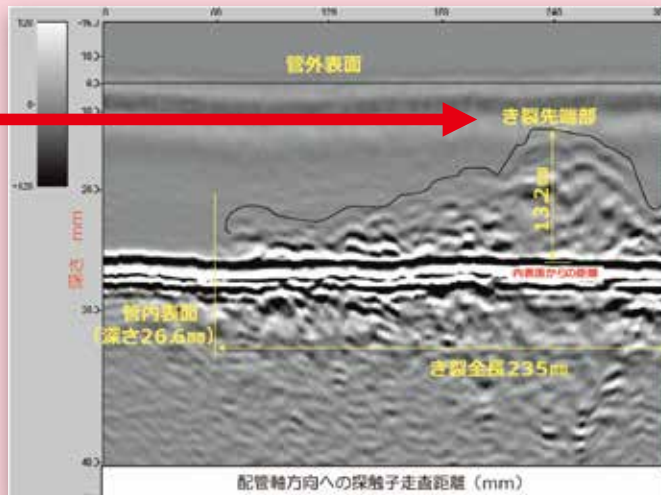
主蒸気・高温再熱／直管・エルボ一部探傷状況

高温再熱配管
長手溶接部探傷



TOFD法による深触子走査方法

溶接部内「きず」表示画面



TOFD法 連続断面画像

お問合せ先

 東京パワーテクノロジー株式会社

技術部 技術センター(川崎事務所)

〒212-0015 神奈川県川崎市幸区柳町83-1

TEL. 044-541-7820 044-541-7811 FAX. 044-541-7800

URL: <https://www.tokyo-pt.co.jp>